

リフレッシュ滋賀

第17号

連合滋賀・高退協会報

発行責任者:吉村眞明

編集責任者:吉川浩次

大津市松本2-10-6

電話:077-523-0500

年頭にあたり

連合滋賀高退協会長 吉村眞明



明けましておめでとうございます。年のはじめに、お互いが健康で幸せな年でありますように祈念いたします。

連合滋賀高退協も結成以来、十二年目を迎えてゆつくりではあります。加齢組織のご協力と、連合滋賀現役の皆さんのご支援の賜と敬意を表します。昨年も年金・医療制度改正に関する請願署名や、高齢者集会等々の活動を進めて参りました。

春の統一地方選挙を皮切りに、各地方選挙や十一月の第四十三回総選挙活動に進んで参加し、輝かしい勝利に多大の貢献を成し得たと確信しています。大変ご苦勞様でした。

恐怖や不安にさらされ、腹立たしいことのみ多い昨今ですが、総選挙に連合推薦候補者四名が全員当選するという快挙に、久しぶりに大きな感動を覚え、感激に涙する思いでした。

感動・感激は若さを保つ大きな要素であります。私たちの若返りのためにも本当に良かったと思います。民主党は躍進しましたが、与党はまだ安定多数を誇っています。

冬の陣は、外堀を埋めたばかりであります。目前に迫った夏の陣で、本丸攻略を果たすため、現役の皆さんと一体になり、全力を傾注して果敢に闘いましょう。

「勇み足承知で海を渡る気か!!」「九条に叱られる日がきつと来る!!」(元・全労済奈良県本常務、石田恒男氏の川柳を借用しました。)

独善的で、口先ばかり改革、弱い者いじめの小泉首相の歩く後から、軍靴の響きが聞こえて来る気がします。平和を守り、生命を守り、くらしを守るため、加齢組織が手を携えて運動を進める決意を固めましょう。

近ブロ・高体連主催

秋のハイキング(和歌山・高野山)に六〇五名が参加

近ブロ・高体連が毎年開催している秋のハイキング。今年は、十月二十八日(火)に(和歌山県・高野山)にて開催されました。連合滋賀高退協からは四〇名が参加し、霊場高野山の秋を満喫しました。参加者の声をお届けします。

前日の二十七日より、四人が連れ立って自家用車で滋賀を出発しました。

「せっかくだからどこかへ寄る?」「ハイ、やまとは国のまほろば、明日香へ」三年前の発掘時、高松塚につぐブームとなった亀形石造物。指まできちんと見分けがつく四本の足、くりっと愛嬌のある目玉、現代風デザインだ。水を口から取り込んで、背中にため、尻尾の先から流し出す仕組み。きれいな上澄みだけが亀に入るよう工夫されたアイデアも見事。懐かしい田園風景を味わい、一路高野山へ。

●お風呂にて
「昨年参加されました?嵐山、きつかったですね。」「えー!どうってことなかったよ。あなた若いのに。」「:(ですから九月から毎晩四〇分歩いて備えてきたんです。)」

●宿坊という堅苦しい規則を連想するけど、全然。全て修行僧がしてくれ、宿坊自慢のとりどりの精進料理に舌鼓。折り目正しい修行僧の応対もすがすがしい。

翌朝、七時三〇分に朝食を終えると六時三〇分からはという勤行がまだ続いている。立ち寄り、外国人修行僧の導きで、お祈り、荘厳な雰囲気。思わずほえんだのは総長さんの端の若い僧二人が体ユラユラ、足をムズムズ。



2004秋のハイキング(滋賀県開催)のご案内

～みんなで誘い合って行きましょう～

○日時 2004年10月29日(金) 10:00～14:30まで

○コース

浜大津なぎさ公園お祭り広場集合・出発10:00→琵琶湖ホールに(約4キロ)てホールの説明およびミニコンサート10:30～11:30→膳所公園12:30昼食13:30→集会14:30解散

○お問い合わせ・参加申し込み方法

連合滋賀事務局(077-523-0500)もしくはそれぞれの産別退職者会まで

●今年のハイキングは、滋賀県が会場。秋の散策を楽しみ、旧交を温める日として多数の参加者が集えればと願う。

●解散後、行きあたりばつたりの一行、入った喫茶店のすずめで龍神の湯の里へ。せせらぎの音を聞きながら湯につかり、日々の喧噪を忘れてのひととき。喧噪だったのは四人のつぎることのないおしゃべりだったという噂も...

●解散後、行きあたりばつたりの一行、入った喫茶店のすずめで龍神の湯の里へ。せせらぎの音を聞きながら湯につかり、日々の喧噪を忘れてのひととき。喧噪だったのは四人のつぎることのないおしゃべりだったという噂も...



滋賀退職教職員協議会 高瀬 應臣

10002高齢者集会

「♪歌って健康に!」

九月二十二日(月)の十時より、守山市のライズヴィル都賀山において二〇〇三高齢者集会が開催されました。

今年は一〇〇名の参加者があり、埋め尽くされた会場では



歌声あり、笑い声ありと賑わいました。NPO法人ブラームスホール協会理事長の萩野美智子さん(滋賀県出身の音楽家)を講師に招き、歌と健康との関わりや発声の仕方を含め、参加者に分かりやすくお話いただきました。萩野さん自身の生い立ち

の中で、歌との出会い、歌との歩みがどれほど生きていく上での支えとなったか。また、歌の中に潜む喜怒哀楽は、生活を感じる豊かなものにすることを強調されました。



そして、会場の参加者もその場に立って発声練習や「大きな古時計」などを歌い、終始和やかな雰囲気になされていました。最後は萩野さん自身が「エーデルワイス」などを熱唱し、美しい歌声に酔いしれたひとときでした。

連合高退協ハイキング

高野の道

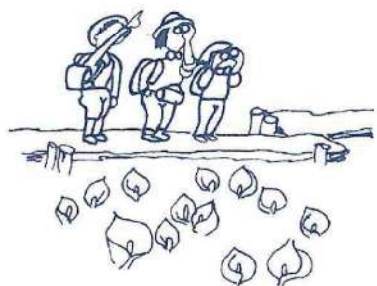
ゼンセンOB友の会 長澤和男

十月二十八日、連合高退協近畿ブロック和歌山・高野山ハイキングが開催された。総勢五〇四名。その内、四〇名の滋賀の一員として夫婦で参加させてもらった。

一の橋から弘法大師が眠る奥の院を折り返し、金堂を経て金剛峰寺までの約六キロの道のりである。随

所に立ち止まり昔を偲べば、いにしえの薫りと千年の祈りがよみがえり、こころ

洗われる思いがした。奥の院山道の両側には、歴史に残る諸大名など二〇万基を超える墓碑や供養塔



が立ち並んでいる。時代と種類はまちまち。味方もあれば敵もある。「来るものは拒まず」この姿勢が多くの人により所となり、今に引き継がれている。帰り道には、多くの宿坊(寺院)と石柱が目についた。宿坊は江戸時代、徳川家が高野山に菩提寺を置いたことから、全国の名僧が高野山の寺院と所縁を結び、参詣時の宿泊にしたのが始まりで、五三坊あると言うから驚きである。石柱は麓の慈尊院から高野山に登る参詣道の道標として建てられた。慈尊院が一八〇町。登るにしたがって一七九町と減っていく。そうすると弘法大師が眠る御廟が一町かと思うと、三十六町になっ

民主党大躍進!! 政権交代の風穴開いた!!

喜びに湧く4人の当選者

十一月九日(日)投票となった衆議院選挙は、四つの小選挙区から立候補した連合滋賀推薦の四候補者が見事に全員当選を果たしました。選挙期間中、連合滋賀は各地域連絡協議会が組織体制を確立し、民主党滋賀県連や各候補者後援会等とも連携を強めながら一丸となつて取り組んできました。結果は、全国でもまれに見ないほど有権者

の支持を集めて三人の候補者が小選挙区に当選、一人も比例区復活当選を果たしました。連合滋賀・高退協の皆さんには個人演説会への参加をはじめ、ご家族や知人への支援の拡大に努めていただいたことに心からお礼申し上げます。



第2区 田島 一成

当 69,620 田島 一成 41 民新
比当 65,033 小西 理 45 自前
11,814 川島 隆二 32 無新
8,741 酒井 紳一 45 共新

力強いご支援、本当にありがとうございました。テロ対策や年金、経済政策など多くの課題がある中、論戦をさける総理を間近で見ると、切歯扼腕の毎日です。これからも現場主義を掲げ、全力疾走で政権交代実現につなげていきます。



第1区 川ばた 達夫

当 87,857 川端 達夫 58 民前
64,002 上野賢一郎 38 自新
20,340 川内 卓 47 共新

21世紀最初の総選挙、皆様のお支のおかげで6度目の当選を果たさせていただきました。ここに謹んでお礼申し上げます。「初生涯」でがんばりますのでよろしくお願い致します。



第4区 奥村 展三

当 83,149 岩永 峯一 62 自前
比当 78,954 奥村 展三 59 民新
15,400 坪田五久男 44 共新

21世紀の新しい政治の実現に向け、連合の皆様のあたたかいご支援ありがとうございました。汗をかいたものが正しく報われる社会。安全で安心の国づくりをめざして全力投球します。



第3区 三日月大造

当 64,225 三日月大造 32 民新
比当 57,732 宇野 治 56 自新
9,648 石堂 晋子 27 共新
2,133 西村 明夫 55 無新

仲間の皆様のご支援に心から感謝申し上げます。日本の未来を拓くため今抱く「素志」、働く者の「汗」、現場の「感覚」を大切に、着眼大局着手小局で頑張ります。今後ともご指導よろしくお願い致します。

尋ねてみると、一町は山上の金堂前で、ここから奥の院と慈尊院に向かって数字が一つずつ加算されている。金堂こそが空海が開いた根本道場の中心で主な行事は、ここで執り行われ、ここからスタートしている。言われると成程と思

った。歩いてきた三十六町(一町は約一〇九メートル)の道には、草や花たち、虫たちが生けるものは皆、美しくたくましく生きていて小さな自然が清らかで、大きく見えた。そこで一句 野菊咲く 昔の薫り 高野山